

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成24年度採択課題）

F S（革新的研究調査）評価結果

番号	F S 研究名	研究代表者	評 価
24-6	改良対策立案のための交差点安全性評価シミュレータの研究開発	名古屋大学大学院 教授 中村 英樹	A

<研究の概要>

本研究開発は、交通安全対策代替案の安全性に関する定量的評価を行うための、交差点安全性評価シミュレータを開発するものである。実測データに基づき、車両と横断歩行者の軌跡・速度の変化、各種判断挙動、およびそれらのばらつきを交差点の幾何構造や制御条件に応じて確率的にモデル化してシミュレータに実装し、コンフリクトの程度を再現することで、ヒヤリハットなどの危険性を空間的に出力可能とする。

<FS（革新的研究調査）評価結果>

研究の見通しに具体性があり、今後の研究成果については、交差点の安全性評価等の実務活用が期待できることから、新規研究として採択する。

<参考意見>

1. 提案シミュレータのパラメータ設定に必要な観測、および観測データの処理方法も含めて、実務的なシステムの開発につながる糸口の発見が、本研究の効率化をもたらすと期待される。
2. コンフリクト状態を再現するシミュレータの検証結果について、明確な説明が必要である。
3. 自転車を含めた交差点の安全性評価については、社会的、行政的なニーズが高く、今後の本研究の中で追加検討することを要望する。なお、この点について仮に十分な研究成果が得られない場合でも、今後の中間評価および事後評価において減点対象とはしない。
4. 個別の交差点の安全性評価に活用するためには、さらにシミュレータの適用性・信頼性を示すことが必要である。たとえば、実際に交差点改良事業前後の評価が行われている箇所についてシミュレーション結果と比較することなどを提案する。
5. 個別の交差点の安全性評価に活用するためには、適用する際の費用及びシミュレーションに必要なパラメータの設定の手間など、現場での使いやすさに留意することが必要である。